

ファンド レポート

三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型) / (株式重視型)

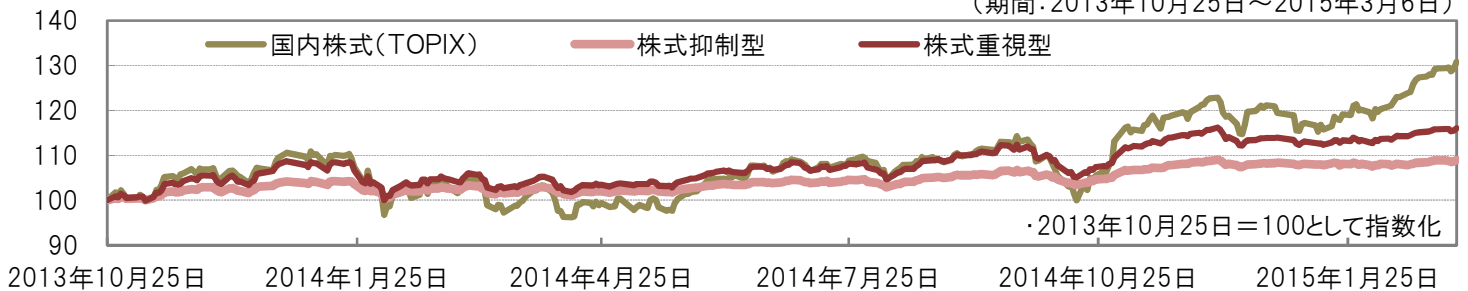
追加型投信 / 内外 / 資産複合

足下の運用状況について

平素は「三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、2015年に入り、日本および世界の株式市場は上昇基調にあります。当ファンドの基準価額の上昇は比較的緩やかなものとなっております。そこで、弊社では足下の当ファンドの運用状況についてみなさまにご案内するため、レポートを作成いたしました。今後とも当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国内株式、バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)の基準価額の推移

(期間:2013年10月25日~2015年3月6日)

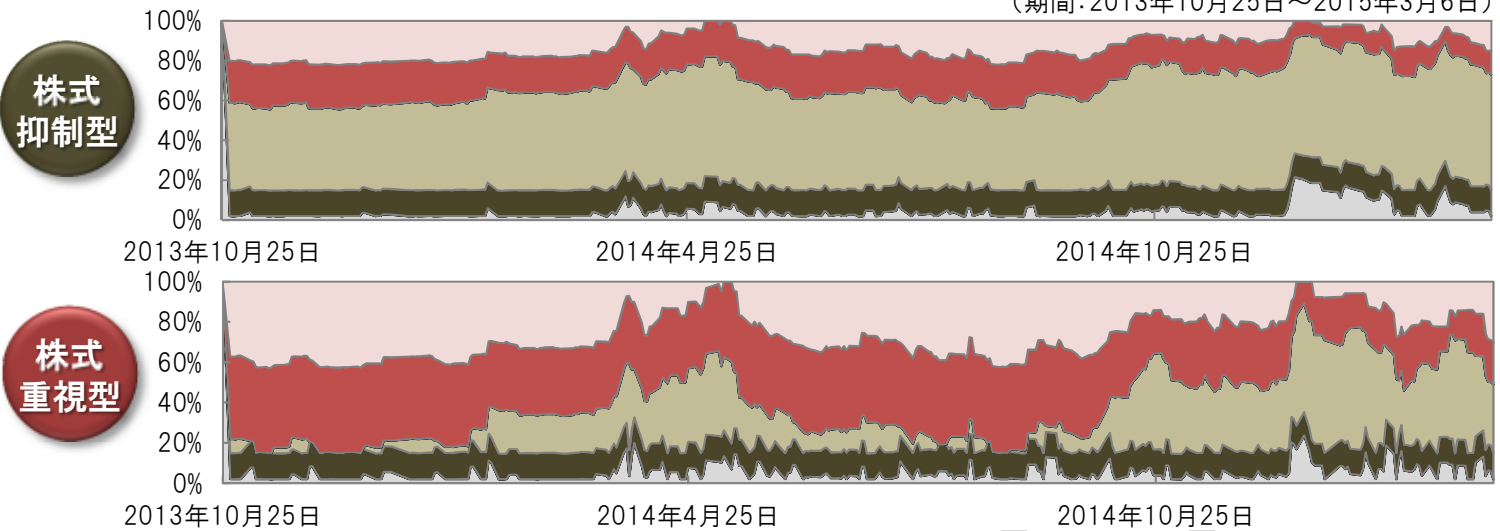


・掲載期間中当ファンドの分配金は支払われておりません。
・基準価額は、信託報酬控除後の値です。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)資産組入比率の推移

(期間:2013年10月25日~2015年3月6日)



・資産別組入比率は各資産に対応するマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
なお、マネー・マーケット・マザーファンドの組入がある場合はその他に含みます。

2014年10月25日
国内株式 先進国株式
国内債券 先進国債券 その他

足下の運用状況

当ファンドは、①株式市場の投資環境判断および②株式部分の収益寄与の2つの軸から株式の組入比率を決定する「株式ウエイトマトリクス」を用いて、運用を行っています。

足下の株価が上昇基調にあることから、②株式部分の収益寄与については高い評価となっているものの、①株式市場の投資環境判断については、景気関連指標の値が高くなかったことなどから、その評価は中位の状況が続いています。以上から、当ファンドの株式における組入については上限まで組み入れることなく、運用を行ってまいりました。その結果、2015年以降の基準価額は、株式市場上昇の影響を受けて上昇しているものの、その上昇率は市場の値上がりと比べて相対的に緩やかなものとなっております。

■上記は、過去の実績・状況です。本見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。■上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用した指数について】をご覧ください。■計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。 1/4

今後の運用方針

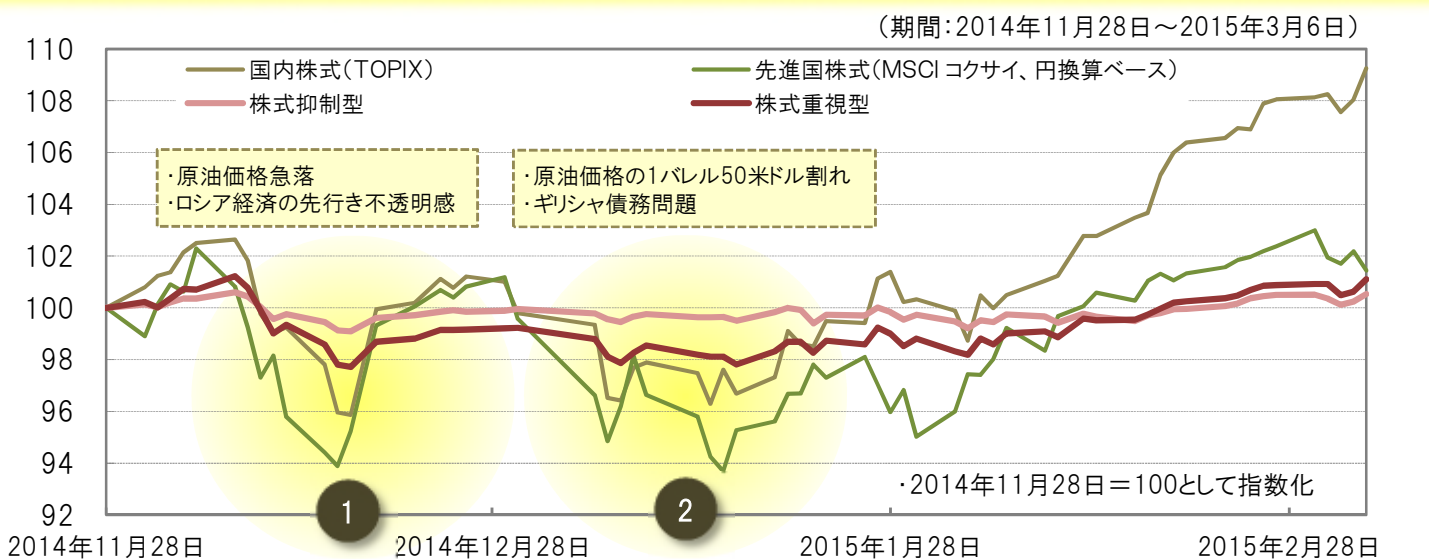
当ファンドでは、引き続き、「株式ウエイトマトリクス」を用いて、株式の組入比率を決定して運用を行ってまいります。足下、①株式市場の投資環境判断の評価が中位にとどまっていることから、株式の組入比率は上限よりも低い水準での運用を行っておりますが、今後この評価が高まれば、株式の組入比率も高めることとなります。一方で、評価が変わらない場合や低下した場合には、組入比率を抑えて運用を行うこととなります。また、株式部分の収益寄与も組入比率を決める要素のひとつであり、株価が上昇を続けた場合には株式の組入を高める方向に、株価が調整に転じた場合には組入比率を抑える方向にそれぞれ働きます。

このように、「株式ウエイトマトリクス」を活用し、株式市場の投資環境や株式部分の収益寄与に応じて機動的に株式の組入比率の変更を行う点が、各資産の組入比率を固定しているバランスファンドと比較した場合の当ファンドの大きな特色となっています。

ご参考: 株価下落局面における基準価額の推移

当ファンドは、三菱UFJ信託銀行が運用する年金ファンド「下方リスク抑制バランス」の運用手法を活用しています。「下方リスク抑制バランス」の運用手法は、バランスファンドにおいて、投資環境悪化時の値下がりをリスクを抑えることを目的に開発された運用手法で、各資産の組入比率を機動的に変更しながら運用を行います。最近では、2014年12月に原油急落などを受けて株価が値下がりがりした局面(①)では、株式部分の収益寄与の低下に伴い株式の組入比率を引き下げることにより、株価下落の基準価額への影響を軽減しています。また、その後しばらく株式の組入比率を低位に維持したことにより、ギリシャ債務問題などを契機とした2015年1月の株価下落(②)の影響も抑えることができました。機動的に組入比率の変更を行うことは、当ファンドの特色であると同時に、投資環境悪化時の値下がりを抑えるという当ファンドの目的の実現にもつながっています。

国内株式、先進国株式とバランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)の基準価額の推移



・掲載期間中当ファンドの分配金は支払われておりません。
・基準価額は、信託報酬控除後の値です。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

■ 計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。 2/4

<追加型投信/内外/資産複合>
当ファンドの商品内容は、販売用資料を併せてご覧ください。

ファンドの特色

- 1 リスク水準に応じた4つのバランスファンドからお選びいただけます。
■当資料でご紹介したファンド以外にも(債券重視型)/(新興国投資型)があります。
- 2 投資環境等に応じて、機動的に各資産の組入比率を調整します。
■各資産の組入比率の調整にあたっては、三菱UFJ信託銀行の投資助言・情報提供に基づき、三菱UFJ投信が行います。
- 3 実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行います。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4 年1回の決算時(3月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
■将来の分配の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

主な投資リスクとして、組入株式・公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等があります。



価格変動リスク

株式市場の相場変動により組入株式の価格が下落すること、金利変動により組入公社債の価格が下落することがあります。



信用リスク

組入株式・公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入株式・公社債の価格が下落することがあります。



為替変動リスク

外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

- 当資料は三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)の運用状況について、投資家のみなさまに理解を深めていただくことを目的に三菱UFJ投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

お客さまにご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	購入金額×2.16%(税抜2%)(上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にご確認ください。 <スイッチングの場合> ありません。	運用管理費用 (信託報酬)	<株式抑制型/株式重視型> 純資産総額×年1.404%(税抜年1.3%)
換金時	信託財産留保額	ありません。	保有期間中 その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用、外国株式インデックスマザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用・・・三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

<追加型投信 / 内外 / 資産複合>
当ファンドの商品内容は、販売用資料を併せてご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型) / (株式重視型)

商号	登録番号等	加入協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当資料で使用した指数について】

■ 国内株式: TOPIX

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ 先進国株式(除く日本): MSCI コクサイ インデックス

MSCI コクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)が投資する各マザーファンドのうち、TOPIXマザーファンドは、国内株式を主要投資対象とし、東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果をめざして運用を行います。また、外国株式インデックスマザーファンドは、先進国株式(国内株式を除く)を主要投資対象とし、MSCIコクサイ インデックス(円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。なお、MSCI コクサイ インデックス(円換算ベース)とは、MSCI コクサイ インデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。